令和7年度 研究構想図

教育目標

◎かしこく（よく考えてやりぬく子）

〇まあるく（思いやりのある子）

〇たくましく（じょうぶな子

本校の児童の実態

・自分のめあてをもち、見通しをもって粘り強く学ぶ力が身に付いてきた。

・学力や学習習慣の定着に二極化が見られる。

教師の願い

・「～したい」という自分の思いをもって学べるようになってほしい。

・対話を通して学びを深められるようになってほしい

・豊かな言葉で自分の考えを表現できるようになってほしい。

目指す児童像：めあてを意識し、学び合いの中で自分の考えを深めていく児童

研究主題：すすんで学習し、学びを深める児童の育成
～国語科文学的文章における指導の工夫をとおして～

各学年で育てる力（「読むこと」の指導事項）、目指す児童像の系統性		
低学年	イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 オ 文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想を持つこと。 カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	見通しをもってめあてを考え、交流を通して、あらたな読みを発見し自分の考えに加筆・修正することができる児童
中学年	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に考えることができる。 エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像すること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	行動や性格、情景から気持ちについて叙述を基に主体的に協働的に考えることができる学習課題に沿って想像したことを伝え合えることができる児童
高学年	イ 登場人物の相互関係や信条について、描写を基に捉えること。 エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の感想をまとめること。 カ 文書を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	自分の考えをもち、友達の考えと比較したり、取り入れたりする中で、考えを深めたり、再構築したりすることができる児童

【研究推進委員会・分科会】（授業改善の推進）

〇教師が授業改善を組織的に行う。

・国語科文学的文章の指導の工夫

・年間6回の研究授業

【学びプロジェクト（日常の取り組み）】

〇日々の学校生活の中で習慣化する。

・学習規律・東京ベーシックドリル ・江戸川っ子StudyWeek・読書科の充実 ・よむ Yomu ワークシート ・放課後学習教室 ・学力調査 SYEN 活用

学 力 向 上

２年間　井出先生から学んだこと

めあて・振り返りを意識した単元づくり

一次　見通し
単元の学習計画を把握し、学習計画を立てる。

教師と児童が一緒に
学習計画を立てる。

二次　習得
新しい読み方を知り、身に付けていく

めあて
振り返り

活用
身に付けた読み方を生かして、
教材内容を深めて読む。読み方を確かなものとする。

めあて
振り返り

三次　応用・発展
身に付けた読み方を生かして、
発展的な課題に取り組む。

めあて
振り返り

毎回ではなく、まとまりごとに学習を振り返る。

４５分間の学習過程

問題把握

学習の進め方
手がかり

めあての設定
（リストから選ばせる）

自力解決

・時間を十分に確保する。
・支援を行う。
・価値付けに向けた見取り・抽出

ペア・グループ
交流・対話

・交流の視点を伝える。
・方法を伝える。
・読み合い
・話し合い
・質問
・アドバイス　など
・加筆・修正をさせる

全体交流

教師主導
意図的指名
価値付け

加筆・修正をさせる
（単元のまとまりごとに振り返り）